

令和5年度 第5回 北区自治協議会 議事概要

日 時 令和5年9月28日(木)午後1時30分から

会 場 豊栄地区公民館 大講堂

出席者 委員

菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、阿部委員、
前田委員、恩田委員、清水(博)委員、有田(一)委員、佐久間委員、
佐藤(茂)委員、清水(文)委員、小熊委員、竹島委員、三浦委員、石山委員、
寺山委員、横山委員、有田(竜)委員、小林委員、日下委員、伊藤委員、
遠藤委員、川島委員、佐藤(哲)委員

計26人

(欠席：佐藤(康)委員、此村委員、佐藤(成)委員、野口委員)

事務局

[北区役所関係]

副区長兼地域総務課長(以下「副区長」)、区民生活課長、健康福祉課長、
産業振興課長、建設課長、北出張所長、消防局北消防署長、
北区教育支援センター所長、豊栄地区公民館長、北下水道分室長、
農業委員会事務局北事務所長、地域総務課長補佐2人、地域総務課職員2人、

計15人

傍聴者 無

内 容

1 開会

2 報告事項

(1) 令和5年度教育委員会の事業説明における主なご質問への回答について

前田会長

次第2、報告事項(1)「令和5年度教育委員会の事業説明における主なご質問への回答について」、教育支援センター長から説明をお願いします。

教育支援センター所長

報告資料1をご覧ください。

6月に8区の自治協議会において教育委員会の事業説明を行い、委員の皆さまからいただいた主なご意見とご質問についての所管課の回答を一覧にしたものです。北区自治協議会委員の皆さまにも多くのご意見、ご質問をいただきました。この一覧表は、意見、質問の多かった事業名の順番で並べています。今回は「新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動」、「新潟市教職員の資質能力の向上」などに多くのご意見、ご質問をいただきました。

いただいたご意見については、今後、開催を予定している区の教育ミーティングの内容や、教育委員会の施策立案の実施に向けて活かしていきたいと考えています。皆さまにご協力いただき大変ありがとうございました。

前田会長

この件でご質問やご意見等ございますでしょうか。

菊地委員

34番、私が質問したものです。特別支援教育というのは、使用する人たち、子どもたちにとってはすごくプレッシャーになるという話をしました。日本という国は、かなりのお金を学校や福祉関係に使っていますが、なかなか、海外からみて福祉国家とはいわれません。こういう、名前の変更に関してもなかなかご理解いただけない。そこに問題があるのではないかと思いますので、意見として聞いてください。

教育支援センター所長

ご意見ありがとうございます。また今回のご意見につきましても、担当課のほうにも伝えたいと思っております。ありがとうございます。

前田会長

その他、ございますか。ないようなので、この件については終わります。

(2) 委員研修会の報告について

前田会長

次第の(2)「委員研修会の報告について」、私から報告します。

まず、8月31日に、北区の委員研修として、東区自治協議会との意見交換会を行いました。報告資料2-1をご覧ください。

当日は、まず全員で今年度の提案事業について、東区、北区から各々説明を受けました。

続いて、三つの部会に分かれ意見交換を行いました。第1部会は北区自治協議会での地域づくり部会、第2部会は福祉教育部会、第3部会は自然文化部会に相当しており、意見交換を行いました。各部会に参加された方から感想などお話しいただきたいと思います。第1部会は私が参加しましたので、私から話します。

東区からは、自治会、町内会の担い手不足の解消につながる事業として、区民向けには回覧板の作成、役員の方には運営事例集を作って配布したそうです。添付資料に、回覧板のバインダーというものが入っています。自治会や町内会の仕組みについていろいろ書いてあります。

北区からは、防災活動に対する若い世代の理解不足解消につながる事業として、体験型訓練として実施した「まなぼうさい」を報告しました。子育て世代を中心に多くの参加があり、中学生もボランティアとして参加、多世代交流事業として高い評価を得た旨、説明しました。この件については、東区の多くの委員の方から運営などについて多くの質問がありました。

佐藤(茂)委員

第2部会は、東、北、合わせて15名ほどの人数で意見交換しました。

阿賀野川をはさんだ両側で、地理的に近く、福祉的な課題は北も東も概ね同様に抱えている中で、東区の方からは、町内会が担っている役割などの話がありました。両区の皆さんが投げかけた課題について、北区ではこのように取り組んでいるという事例を話しました。

時間がもう少し長ければ、もう少しつこんだ話ができたと感じました。また継続して、このような時間を持てたらいいと思っています。

清水(文)委員

北区の自然文化部会と、東区は公共空間、施設の利活用という目的を持った部会で一緒に意見交換をしました。中身については概要録に記載のとおりですが、その中で少し気になったところだけ、説明いたします。

北区に対して東区からの質問は、自然環境の中で区民が遊べる事業、ハード面でどういうことを提案しているのかという質問がありました。そして、北区を代表する農産物、特にブランドと言われるものについての質問がありました。今夏の雨が少なく、福島潟の水量はどうかという意見もあり、北区は自然環境が豊かだという目で見ていると感じました。

北区からは、じゅんさい池のPR方法についてと工場夜景ツアーの主催元について質問しました。そのほか、東区は非常に東西の交通の便が発達しますが、南北の、いわゆるフィーダ一路線の拡充を聞きました。いろいろ研究されていて、新型のバスを採用するなど大変立派

な区バスの運営をされていて、うらやましいなと思いました。

私の所感ですが、同じ境遇の委員同士の意見交換会というのは、ある意味、勉強になりました。各区のテーマはそれぞれ異なりますが、気になっている特徴を聞くことができよかったと思います。それから、少し辛口になりますが、この研修会は、短時間でしたので、できれば、それぞれ相手の地区の特徴などを事前に調べて、どういうことを質問すれば一番我々のためになるか、事前にチェックしたうえで臨めば、もっとメリットの多い会になったと思います。いい勉強になりました。ありがとうございました。

前田会長

皆さん、ありがとうございました。私も、時間が足りず、事前に論点を整理していけばよかったかと思いました。この件で何か、皆さんからご意見ありますか。

伊藤委員

残念ながら参加できなかったので、少し質問です。

第3部会の概要録の中で、ラムサール条約の関係の記載がありますが、私も全然知らないことが多いので、どういうご意見があったか、教えていただきたいと思います。

小日向委員

私も聞いたことがあるというだけで詳細はわかりません。

どなたか分かる方があれば、説明していただけますか。

菊地委員

ラムサール条約を結んでしまうと一切なかの工事関係等ができなくなってしまう。まだ福島潟の関連の工事が終わっていないために、結ぶ方向には少しまだ向かえないということだったと思います。

前田会長

昨年まで委員だった方も同じような意見で、登録すると河川工事などに支障が出る可能性があるとおっしゃられていました。

清水(博)委員

佐潟の登録との関係で、同時期にそういう話がありました。周辺に住んでいる方々は、毎

年水害に遭う、それを防ぐための工事が中止される可能性があるということでかなり議論になった経過があります。

前田会長

ありがとうございました。ほかに何か皆さんからございますか。ないようであれば、次に移ります。

9月5日に市全体の区自治協議会の研修会が黒崎市民会館で開催されました。報告資料の2-2をご覧ください。前半は新潟医療福祉大学の丸田先生の講演でした。後半は三つの分科会に分かれて意見交換を行い、最後に全員で集まり、情報の共有を行いました。

丸田先生の講演資料を欠席の方にも配布していただきました。ただし、先生は、これは講演ではなく、区自治協議会を取り巻くこれまでの経過や事実を整理してまとめたものだとおっしゃりました。各区の実情に応じた組織運営の在り方、課題解決の方向性、取りまとめの議論のポイントについては各自治協議会で議論を進めてもらいたいということでした。

たしかに、先生から「こういうことをやりなさい」というのはあり得ない。やはり我々が直接話し合っただけで物事を作っていく、というのが私の結論です。

このことについて、私は昨年からは自治協議会の運営はどうあるべきかということを考えていました。市町村合併でできた区なので、区議会で議論すべきだというのが私の考えですが行政効率を考えると無理です。その代替的組織として、設立されたのがこの区自治協議会であると考えます。

皆さんと共に、試行錯誤をしながら独自の事業を展開していきたいと考えていますので、皆さんからもぜひそのことを頭に置いて、これから活動に臨んでもらいたいと思います。

ぜひご協力をお願いしたいということでございます。

この研修会も、各分科会に参加された委員の方から感想をいただきたいと思います。

佐久間委員

第1部会で北区代表として発表させていただきました。令和3年度、令和4年度の地域づくり部会の取組みの「まなぼうさい」のお話をさせていただきました。

とても反応が良く、質問も多くいただきました。この2年間やった結果、世代、団体をつないで地域が一致団結することができて、顔の見える関係づくりができたので、地域の多様な団体との連携という点で、市民協働や地域活性化という自治協議会の役割も果たせたのではないかと思います。

アンケートの中の自由記載のところがまだきていないので、そこに、来年度、今期の事業

のヒントになることがあれば取り入れていきたいと思っています。

発表の機会をいただき、ありがとうございました。

遠藤委員

第2分科会では三つの区から発表がありました。

一つ目が中央区から「未来への種まきプロジェクト」、公募したそうですが、申請1件でした。徘徊搜索模擬訓練ということで、認知症の方がまちなかにいらっしやった時の対応を実際にやってみて、マニュアルが作成されたというお話でした。

二つ目は西区から、支え合いをテーマにワークショップを開催し、「毎月5のつく日はごあいさつDAYです!」ということで、自治協議会委員も街頭に立ってあいさつ運動をして、運動を進めているという内容でした。

三つ目が西蒲区で、西蒲区は、医学博士の加藤俊徳さんから、認知症の予防の講演会を行っていただきました。支える取組み、支えている家族、若年層との協力という課題をあげていました。私も今福祉教育部会にありますが、支え合いというのは貴重なワードで、これから何ができるのか、何をどうやっていけばいいのかという辺りを、部会の取組みの中で検討していきたいと思っています。

坪木委員

第3部会は、まちづくりというテーマで各自治協議会の取組みの紹介をいただきました。

まず、東区からは、自治会、町内会の担い手不足解消の取組みの紹介でした。区民向けには、自治会、町内会の活動内容や役割を盛り込んだ回覧板のバインダーを作成して、現在も使用しているという事例でした。役員向けには、各自治会、町内会の運営事例をまとめた事例集の紹介がありました。

秋葉区は、きらめきプロジェクトという事業の紹介。地域課題を住民から募集して、自治協議会と協働してプロジェクトを立ち上げ、問題解決に向けて取り組んでいる事例という発表でした。

江南区は、江南区の魅力発掘・発信プロジェクトという事業の紹介で、まち歩きマップを作成し、他地区への魅力発信の活動を展開しているという事例でした。令和3年度は曾野木地区、令和4年度は横越地区のマップを作成しました。

感想ですが、各区でいろいろ考えて活動している着眼点について大変参考になったという思いと、私自身いつも思っているのは、区民が本当に必要としている地域課題に取り組んでいるのか、その取組みが区民に還元されているのか、他と重複しないのかというようなこと

を考えました。その点、秋葉区の区民からの事業募集はいい方法だと感じました。

前田会長

ありがとうございました。

今の報告で、皆さんから意見や質問がありましたらお願いします。

清水(博)委員

私は残念ながら参加できなくて、あとで読ませていただきました。小川さんの思いというのが載っていましたので、これを見ての私の感想です。実は、最初に自治協議会が発足したときの会長が小川さんです。そのときに、旧新潟市から川島さんともう一人、旧豊栄から小川さんと私が出て、そこに丸田さんが入り、5人で事務局を構成した経過があります。その時に、小川さんが主張していたのは、合併して、合併建設計画をどう推進していくのか。それと自治基本条例をどうやって作り上げていくのが最初の大きな課題でした。

そこで、さかんに小川さんが言っていたのが、「大きな区役所、小さな市役所」。要するに、区の責任を大きくして、大きな予算をつけるべき。そして区がどんどん仕事をすべきだということを基本的な考え方として持っておられた。それが今、そうなっているかどうかということになると、残念ながらなっていない。

そんなことを考えると、もっと自発的にやれるような大幅な予算が付けられることが大事なのかという感想ですが、その辺の話があったか聞かせていただければと思います。

前田会長

最後の質疑応答の中で、「自治協議会というのはどういうことを議論すればいいのか」と言う質問がありました。丸田先生は、事例をあげてこうなさいということとは言えないと。結局は自分たちで、区自治協議会としてどうあるべきか、限られた時間の中で考える、それしかない、私は考えています。ただ、各区の会長さんがたまたま近くにおいて、「大きな区役所」についてどう思われますかと聞きましたら、大事なことなのでそれは自治協議会会長会議で要望していこうかという話をしました。

清水(博)委員

何年前かに、自治協議会の条令が変わりました。どういう経過で条令が変わったのか、少し私も研究してみなくてはいけないかと今考えているところです。

前田会長

当初は、市町村合併のそのあとの調整、その辺の議論がいろいろありました。それが終わると、建議などがほとんどなくなりました。コロナ禍で、いろいろな事業のイベントなどが中止になり、本当の意味の議論がなかったような気がします。しかし、全てが行政の代わりをするようなことだけだと、それも多分違うと思います。やはり我々でいろいろな意見交換をしながら、ただ、私もどうしていいか分かりません。皆さんから意見を出してもらいたいと思います。

菊地委員

今、いろいろな意見を聞いて思ったのが、どこまでが住民自治で、どこまでが行政の範囲なのかその区分がすごく難しい。ただ、ここで議論するには、線引きをある程度はっきりと決めていかないと、なかなか進んでいかないのではないかと。でも現実是非常に難しい。

新潟市はコミュニティ政策をとって進んできましたのでいまさら止めるというわけにはいかない。私も当初、1期、2期にいましたが、当時、一番、日本で進んでいたコミュニティをもっていたのが宝塚市でした。そこの担当から講演を聞きました。行政主導と市民自治で、頑張ってコミュニティを立ち上げて、住民自治をしていったところは、行政主導よりよくなる。でも、積極的でないところは、悪くなっていくという話をされていました。もう1回、原点に立ち返って、見直して議論したほうが私はいいのかと思います。

伊藤委員

先ほど、佐久間部会長から「まなぼうさい」について、その部会に私も参加しており、他区の大反響を肌で感じました。ほかの区にも広がっていくきっかけになればいいなと思いました。また、やったことを発信し、これからも継続していきたいという感想でした。

佐久間委員

伊藤さん、補足をありがとうございました。

区自治協議会の在り方についてですが、前小川市長の最初の思いや、当時のメンバーの皆さんはその思いを強くもってつないでくださっているということはすごく分かります。それをないがしろにするつもりは一切ありませんが、15年たち、状況も変わり、市政も区の行政もよくなっている部分もたくさんあると思います。自治協議会の在り方についても、今後続いていける議論にしていけないとだめだと思っています。実際、この月1回の自治協議会で、大きな予算をつけられて「何かやれ」といわれても、自分は協力できるのかという思い

もありますし、プレッシャーをかけられて、委縮して意見も言えなくなります。まず議題に対して意見を言えるような雰囲気づくりとか、新しい意見を取り入れながら、より住みやすい、みんなが生きやすい社会にしていくことが大事だと思います。本当に申し訳ないと思いますが、合併して十何年経っていて、その歴史を追う時間もないですし、発足当時の思いも大事にしながら、今の時代に合ったように変えていくことも大事だと思います。少し、新しい目線も入れてほしいという意見です。すみません、余計なことを言ったかもしれませんが、4月からずっと思っていたので伝えました。

前田会長

ありがとうございました。ごもつともで、多様な意見をどのようにまとめるかというところが大事なのです。そこの部分は、もっと皆さんと議論しながら進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。ほかになれば、次に進みます。

(3) 部会の会議概要について

前田会長

次第(3)「部会の会議概要について」、各部部长から報告をお願いします。

佐久間委員

地域づくり部会です。

テーマを「防災」に決めましたが、内容や対象、どのような事業にするかということが、委員のみなさん思いが違っていたので、分かりやすく目に見える形にということで、事務局が作成したワークシートに沿いながら自分の意見を発表しました。

防災知識の区民向け啓発に関する提案が多くて、いろいろなやり方や対象があり多岐にわたるので、まずは防災知識に関して委員自身が改めて学び、北区の課題が何なのかを抽出することが必要ということで、今日まずハザードマップの見方を学ぶことになっています。

清水(博)委員

福祉教育部会から報告いたします。

7月は委員の提案事業の調査、研究のテーマを決めました。事前に案を配り意見を募集しました。その結果、「地域活動の担い手不足」に決定しました。

今後の調査、研究活動としては、昨年行ったボランティア応援講座を区役所だよりで、紙面に掲載をしてその反響を見る。また、地域の茶の間の現状について話を聞くなどです。

二つ目に、令和6年度区づくり予算事業についてです。竹島委員から出た案を部会でさらに検討し、7月の全体会の福祉教育部会の案として提案しました。

委員提案事業の調査、研究活動として、三浦委員から地域の茶の間の現状についてお話をしていただきました。参加者が固定し広がらない、どうしたら集まるか、こういう課題がありました。特に男性の参加が少ないということは皆さん言っていました。

自治協議会だよりでのアンケート項目は、先ほどの「男性の参加が少ない」という傾向について、どのような形であれば参加しやすいのかを聞くことにしました。

三つ目に、新潟医療福祉大学との連携講座企画案についてですが、4人の方から企画案を出していただき、検討いたしました。出た意見を事務局で整理し、皆さんと相談しながら具体的に詰めていく予定です。

小日向委員

自然文化部会です。

7月の部会は、自治協議会終了後、ひょうたん池と島見浜へ行き説明を聞きました。

8月は28日に船に乗って福島潟を体験していろいろ説明を聞きました。その後、潟来亭で、福島潟で採れた食材を使ったお弁当を試食するなどの、研修を行いました。

9月は26日に北区郷土博物館で学芸員の方から、縄文土器のある5,000年前からの歴史を勉強しました。本日は、その3回の研修の結果をみて、この先どうするか検討する予定です。

前田会長

今の報告について、何かご質問とかご意見とかありましたらお願いします。

事務局

事務局からよろしいでしょうか。自治協議会提案事業用のアンケートについて、先月各部会で項目について検討していただいたと思います。その取りまとめができました。報告資料3-2をご覧ください。11月5日発行の北区自治協議会だよりにこのようにアンケートを掲載して、今後の提案事業の参考にしていただくような形で作っています。内容はまだ変更可能ですので、何かご意見がありましたら、このあとの部会でお伝えください。

前田会長

ほかに何かご質問やご意見ありますか。ないようであれば、次に移ります。

3 その他

川島委員

豊栄高校と新潟北高校の併合という報道について、少し質問です。

まず、現在の状況というのはどのようになっているのでしょうか。豊栄高校は県立ですが、北区にあるわけですから、全然関係ないというわけにいかないで、市と区のかかわりかたも含めて説明していただきたいのです。

副区長

申し訳ありませんが、やはり県立高校ですので、県が整備計画を作り、これから教育委員会にかけていく検討途中の部分ですので、それについて、市で意見というものはなかなか言いにくい。

ただ、実際に、委員もおっしゃられたように、北区にある高校ですので、これまでと同様、豊栄高校とのかかわり、魅力ある存在、魅力ある高校を目指すために、私どももいろいろなイベントなどで、一緒になって取組みを行ってまいります。生徒さんが、例えば葛塚市(いち)に出てきたり、ボランティアで出てきたりとか、そういうところで活躍いただける部分に関しましては、一緒になって現在も取り組んでいるところです。

令和4年度の例で言うと、区ビジョンまちづくり計画の表紙のデザインを豊栄高校に依頼して作っていただきました。また葛塚市でのボランティア、昨年度の自然文化部会で実施した、福島潟の魅力を語る会で豊栄高校の生徒さんたちにもパネラーとして出演いただきました。引き続き、そういった学校の魅力をアップするための側面支援は行えますが、高校再編計画自体は、市や区では難しいという現状です。

川島委員

8区のうちで北区だけ公立高校がなくなるということは非常に危惧しています。これは大きい問題なのではないでしょうか。これは県だからではなくて、我々は、「住んでよかった北区」ということをいっています。この、若い人材を育てていくことは非常に大事なことです。そういう機関がなくなるということは、非常に問題があるのではないのでしょうか。

したがって、この問題に関して、私がおかしいのかもしれませんが、総務部会で何らかの意見といいますか、そういうものを出したらいかがでしょうか。

前田会長

承知しました。総務部会で何か検討します。

私の住む岡方ではコミュニティ委員会を中心に、署名活動が行われています。それは多分、有志という形で行っていると思います。私も署名しました。この件は預からせていただき、少し検討させていただいてよろしいでしょうか。

川島委員

よろしくをお願いします。

石山委員

8月25日に行われた「阿賀野川ござれや花火」大会のご報告と御礼を一言申し上げます。

まずは、自治協議会委員の皆さま、そして所属する団体の皆さま、行政の皆さまから多大なるご支援とご協力をいただきました。大変ありがとうございました。

今年は4年ぶりの通常開催ということで、春先から開催に向けて急ピッチで計画しました。時間もなく、予算もかつかつ、実行委員会は4年ぶりです。空白がありやることも忘れていました。物価高とかもあり、大変厳しい状況の中、本当に開催自体が危ぶまれました。多くの皆さまからご協力をいただく中で、小さなトラブルはありましたが、盛大な花火を上げることができました。大変ありがとうございました。

先日、第50回、来年度に向けて、実行委員会で検討しました。もう花火自体をここで止めるかという話まで出ましたが、来年度50回、節目の数字ですので、まずはチャレンジしてみようというところで、開催に向けて来月から動き出すことが決まりました。皆さまは、地域の代表でございますので、また来年度も、どうかご協力をいただけると、私たちも何とかやっていけるとお思いますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

貴重な時間をいただきました。ありがとうございました。

佐久間委員

豊栄高校の件で、私は卒業生でもありませんが、同じく、区に県立高校がなくなるのはどうかと思います。7月6日に県の教育委員会が再編を発表してから、やっと8月24日に同窓会長が県に話をしに行ったという報道がありました。県が、統合はあくまで計画段階で、来年度の入学志願者数を見て方向性を判断すると回答したということで、ニュースでも、区内で唯一の県立高校の存続の行く末が注目されていますと言われていました。

先ほど副区長が言われたように、県の計画に対して市が口出しできないということなので、住民として声を上げていかないとだめだと思います。川島委員がぜひ署名活動とかして、住民としての意見をあげていくということをやらないとだめだと思います。同窓会も動いてい

るということで、まだ本当になくなるかどうかは分からないので、なくさないでくれということはあるべきかと思えます。

前田会長

ありがとうございました。ほかになれば、これで終わりたいと思います。皆さん、ありがとうございました。